

色の変化で並びたくなるマーク

A mark that makes you want to line up by changing colors

村田 海斗¹ 中村 樹² 青木 陽菜³

Murata kaito¹, Nakamura ituki², and Aoki hina³

¹ 京都すばる高等学校

¹Kyoto Prefectural Kyoto Subaru High School

² 企画科 Uゼミ Aチーム

² Planning Field

Abstract: The goal of this study is to prevent congestion when lining up at hand-washing stations in order to prevent the spread of infection, and we aim to solve this problem by using a "trick. We set up a color-changing version of an existing device. In this paper, we introduce the details and results of the verification.

1 はじめに

私たちの学校内の手洗い場には密を避けるために縦に1メートル間隔で黄色いテープが貼られています。しかしその黄色いテープ(写真1)の効果あまり見られず、生徒同士の間隔が空いていませんでした。そこで、私達は手洗い場に並ぶ際に生徒同士の間隔が十分に空いていない点を課題として設定しました。仮説として「別のマークに変更して設置することで生徒同士の間隔を開けることができる(仮説①)」と「色の変化によって人の行動が変化する(仮説②)」の2つに決定しました。

写真1:



私たちは、これまでに校内で既に存在している「つつい並びたくなるマーク」に着目し、(写真2)この課題に生かすことにしました。(仮説①)そこでそのつつい並びたくなるマークを活用しようと考えました。さらに仮説②を検証するために、

赤色と緑色の二色のマークを活用しました。私たちの予想では、赤色のマークのほうが生徒同士が間隔を空けて正確に並べるのではないかと考えました。

写真2:



2 提案方法

研究発表

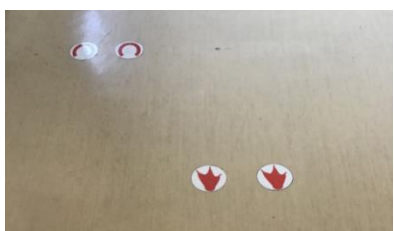
3 検証

まず、1メートル間隔で貼られていた黄色いテープを動物の足跡に変更し、手洗い場の前に設置しました。動物の足跡のマークは緑色(写真3)と赤色(写真4)の二色を用意し、それぞれ一週間ずつ検証しました。私達の学校では昼休みに20分、黙食の時間があります。その中で「4列に分かれて並ぶことが出来ているか・1メートルの間隔をあけて並ぶことが出来ているのか」の観点に注目して、黙食時間が始まってすぐの5分間手洗い場の前を観察しました。それぞれ並べていた場合は○、そうでなかった場合×という形で判断しました。

写真3：



写真4：



「蛇口の前に4列に分かれて並ぶことができるか」の点では、緑色のマークの方が並べていました。赤色のマークの場合は足跡に一足ずつ足を合わせている人がいたり、2足の足跡にマークを変更した効果が見られているのではないかと感じました。「1メートルの間隔をあけて並ぶことが出来ているか」の点では、基本的には緑も赤も正確に並べていました。(表1)

表1：

記録	1メートルの間隔に並べているか	足跡通りに四列に並べているか
11/12	○	×
11/15	○	○
11/16	○	○
11/17	○	○
11/18	○	○
11/19	×	×
11/22	○	×
11/23	×	×
11/24	×	○
11/25	×	○

写真5



しかし、赤色のマークはマークの横に立っていたりマークを踏まないように立っている人が多くいました。(写真5) その結果、そのあとに並ぶ人もマークの上に立つことが少なくなり、並ばないことが見られました。

3 むすび

この検証で残った課題を解決するために再度検証が必要であると考えます。しかし、私たちに残った課題を解決する機会がないため最後まで検証ができませんでした。これまで一年間の活動はこれからの生活に生かせることがあると思います。

謝辞

今回の検証は、松村真宏先生よりzoomでの仕掛学入門の講義や、山根承子様には行動経済学についての講義をしていただきました。山縣正幸先生には仮設の立て方や探求の仕方などについて講義していただき、論文の書く基となりました。また、株式会社伊藤園広告宣伝部の金井菜々美様にも、仕掛の検証や論文作成にあたってのポイント等を教えていただきました。仕掛学が初めての私たちにとって、松村先生、山根様、山縣先生、金井様のお力添えがなければ無事に成功させることができなかつたと思いますここに記して感謝申し上げます。

参考文献

- [1]仕掛学 松村真宏 東洋経済出版(2016)
- [2]仕掛学研究会発表論文 大前 海翔, 河上 絢翔
松本 裕真, 高橋 陸 (大阪府立天王寺高校)
仕掛けゴミ箱によるポイ捨て抑止効果検証と実用化検討 (第10回仕掛学研究会 (2021))
- [3]「ペットボトルつぶせるリサイクルBOX」
～捨てる行動を誘引し、資源を回収する仕掛け～
金井菜々美 株式会社 伊藤園 広告宣伝部
<https://www.shikakeology.org/>

※連絡先：京都府立京都すばる高等学校

企画科3年 課題研究 (Uゼミ)

〒612-8156

京都府京都市伏見区向島西定請120

E-mail: r-umeki-20@kyoto-be.ne.jp